

卒業生の皆様からいただいた金環日食の様



撮影者：大里 英夫さん

(工学部卒 昭和 38 年)

新橋駅 汐留口。出口を出るとみな空を見上げました。幸か不幸か雲があったので肉眼でも見えましたが、中には用意よく、特性のメガネで観測している人もいました。私は肉眼で。



←金環食。時刻午前 7:37。ちょっと真ん中よりずれていますが、雲の切れ目から見えたのですから、ラッキーというところ。

(撮影地：都内新橋駅前)



(撮影地：静岡県浜松市)

撮影者：渡邊 志さん

(工学部卒 平成 5 年)

金環日食の写真を添付します。

小生は静岡県浜松市から観測しました。

朝から曇天だったのですが、丁度食が始まるころ、奇跡的に日が射して、このように綺麗な金環を観測できました。07:25AM の撮影です。



撮影者：野田 一房さん

(工学部卒 昭和 45 年)

(撮影地：東京都武蔵野市)

本日の金環日食ですが、偏光レンズをつけて撮影をしました。
ご紹介しますのでよろしくお願いいたします。



撮影者：平井 一男さん

(園芸学部卒 昭和 46 年)

(撮影地：埼玉県上尾市)

自宅の庭から、レンズをのぞかず、ランダムに撮影した120枚のうちの2枚を送ります。
曇天でしたので、とれるか否かわかりませんでした、パソコンでみたら映っていました。



撮影者：伊藤 良一さん

(工学部卒 平成7年)

生憎の天気でしたが、雲が薄らいだタイミングで、ダイレクトで撮影ができました。

(撮影地：神奈川県厚木市)



撮影者：北澤 幸一さん

(工学部卒 昭和54年)

フィルターデジカメ手持ちであまりいい画像ではありませんが。

(撮影地：東北自動車道の羽生PA

【下り線】)



撮影者：佐々木 史さん

(理学部卒 平成3年)

自宅の窓から撮影した写真を添付します。

(撮影地：東京都羽村市)



撮影者：工藤 禎子さん

(看護学部卒 昭和 59 年)

札幌の日食の写真を添付します。
薄曇りで肉眼ではっきりよく見え
ました。

(撮影地：札幌市北区)



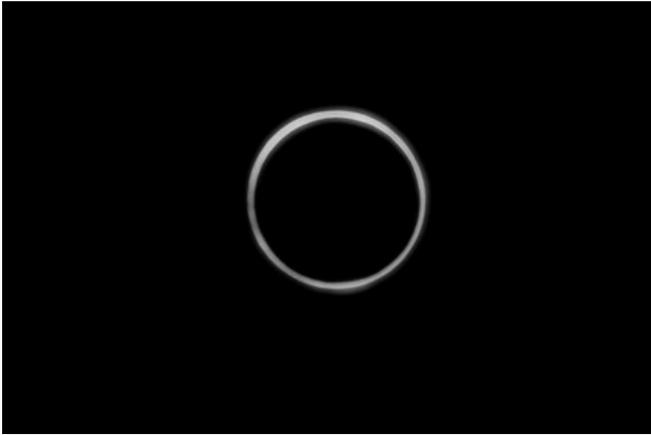
撮影者：今泉 洋さん

(理学部卒 昭和 56 年)

金環日食の写真をお送りいたします。
撮影地は東京都新宿区です。
直前までは晴れていたのですが、ちよ
うど金環日食になる時に雲が出てし
まいました。
でも雲を通して撮影できました。



(撮影地：東京都新宿区)



(撮影地：埼玉県越谷市)

撮影者：関根 二郎さん

(工学部卒 昭和 35 年)

自作望遠鏡で金環食を撮ることができました。

昔、神田神保町で求めた凸、凹の 2 枚のジャンクレンズを組み合わせて約 4000 ミリのレンズ（一種のパロウ型レンズ）とし、白色スクリーンに投影した像を撮影したものです。従って左右逆の鏡像になっています。

埼玉県越谷市では、丁度金環食時雲が薄くなりなんとか記録できました。

レンズは僅かに収差やクモリがあり、少しハロウが発生していますがなんとか記録できました。



7:20 F:8、1/800sec

8:06 F:8、1/2000sec
ND=3.2 フィルター使用

2012.5.21. 梶ヶ谷にて、
上の 3 枚は雲間越しで
フィルター無の撮影

7:32 F:8、1/2000sec



7:28 F:8、1/2000sec

7:39 F:8、1/2000sec
ND=3.2 フィルター使用



Canon EOS Kiss X4 Tokina 300mm
で撮影したので、APS-C サイズ換算で
太陽直径は撮像素子上 2.25mm 位に



(撮影地：神奈川県川崎市)

撮影者：山田 義彦さん

(工学部卒 昭和 35 年)

川崎市高津区の金環食画像を添付します。

前半は雲が厚くて僅かに雲間に見えた程度でフィルター無での撮影でしたが、後半は時折雲が切れフィルターを使いました。



撮影者：角田 彰男さん

(教育学部卒 昭和 44 年)

ややピンぼけですが、2012.5.21 金環日食の写
真をお送りします。

(撮影地：埼玉県久喜市)



撮影者：東 哲司さん

(工学部卒 平成 7 年)



曇りの世田谷、手持ちで撮った写真です。
雲が写っていない写真は太陽フィルターを使っ
てますが、その他はフィルターを使うと暗過
ぎて、ノーマル状態でシャッタースピードを
遅くして撮影しました。

そのため、手ぶれしております。

(撮影地：東京都世田谷区)

撮影者：中瀬 真さん

(工学部卒 昭和 46 年)



3年前の前回に引き続き、世田谷の自宅からのもの
をお送りします。

(撮影地：東京都世田谷区)



撮影者：浜 武さん

(薬学部卒 昭和 58 年)

長野県松本市島内の自宅の 2 階より撮影しました。松本市は金環食と部分日食の丁度境目に当り、私の自宅のある辺りでは惜しくも金環食には至りませんでした。それでも、食が最大限に達した頃には辺りは微妙な暗さになるとともに、気温が下がるのが肌で感じられました。

(撮影地：長野県松本市)

(※順不同，コメントは抜粋させていただいております。)